



フサヒゲルリカミキリの初公開できるか？

足立区生物園で

絶滅危惧の昆虫展

令和5年4月20日 送付枚数：1枚

！ここがポイント！

■「フサヒゲルリカミキリ」公開に向け飼育中

昨年、国内昆虫施設で2例目となるフサヒゲルリカミキリ羽化に成功した生物園。初公開に向けて繁殖活動を進めていますが、飼育がとても難しい生体で「羽化」次第です。上手く行けば5月下旬ごろの公開です。



フサヒゲルリカミキリ

■「ゲンゴロウ」「タガメ」は絶滅危惧種

昔はよく見かけた昆虫も今では絶滅危惧種だったりします。生息する水辺の減少など環境変化が昆虫に与える影響は大きいです。子どもも大人もご覧いただき、一緒に環境について考えてみましょう。



ゲンゴロウ

■「ツシマウラボシシジミ」も公開

本生体は長崎県対馬北部にのみ生息する絶滅寸前の蝶。2014年から緊急避難・飼育技術開発・繁殖などの取り組みをしており、生物園の環境保全活動を語るうえで欠かせない生物です！



ツシマウラボシシジミ

◆生物園の取り組みを知って欲しい

生物園では、絶滅危惧種の保全活動に取り組んでいます。現在、「フサヒゲルリカミキリ」「ツシマウラボシシジミ」「アマミトゲネズミ」の3種の生きものを環境省と一緒に生息域外保全（生物や遺伝資源をその種の生息地外において保全し、それら生物の科学的知見を得るとともに、繁殖して絶滅を回避する取り組み）を行っています。今回、絶滅の恐れのある昆虫の生態や標本の展示と生きものを守るための法律や生物園での保全活動についても紹介します。

ぜひ、取材・報道をお願いします。

「絶滅危惧の昆虫展」概要

- 場所：足立区生物園 2F むしむしコーナー
(足立区保木間 2-17-1)
- 展示期間：4月19日(水)～7月9日(日)
- 開園時間：午前9時30分から午後5時まで
- 休園日：毎週月曜日(夏休み期間は無休)
- 入園料：①小中学生 150円 ②高校生以上 300円
③未就学児無料



■ 本件に関する問い合わせ先

足立区生物園 園長：関根 広報：荒牧・大川 ☎03-3884-5577

■ 発信者

政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 ㊟070-5598-7874